



福祉人材センター × 介護福祉士会

# ふくし・かいご通信

2022  
6月  
No. 9



発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

北海道福祉人材センター  
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

## 今月は… 介護のワンポイント ～介護事故の予防について～



一般社団法人北海道介護福祉士会 事務局長 羽山 政弘 氏  
(社会福祉法人札幌慈啓会 慈啓会老人保健施設 介護担当部長)

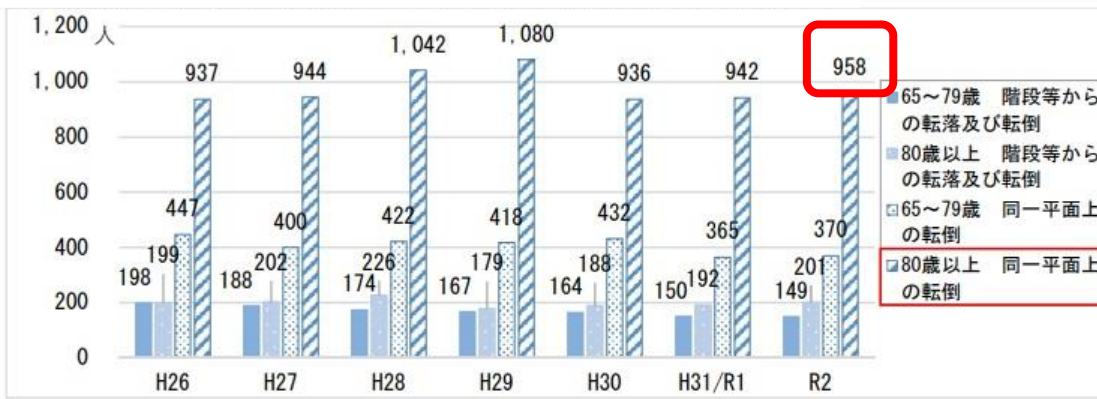
消費者庁が令和3年10月6日に発表した「転倒予防の取り組み」の資料の中では「人口動態調査（平成26年～令和2年：厚生労働省）」における「65歳以上の不慮の事故による死因のうち、「転倒・転落・墜落」及び「交通事故」による死亡者数の推移」では、ここ数年、8千名以上の方が「転倒・転落・墜落」により亡くなっています。（表1）また、「65歳以上の家庭における「転倒・転落・墜落」による死亡者の推移」では、80歳以上のスリップ、つまずき及びよろめきによる同一平面上での転倒が顕著に多い。とのデータが示されています。（表2）

そして、「高齢者の介護が必要となった主な要因」として、「骨折・転倒」は、理由としては、4番目に多いと言うデータもあります。（表3）

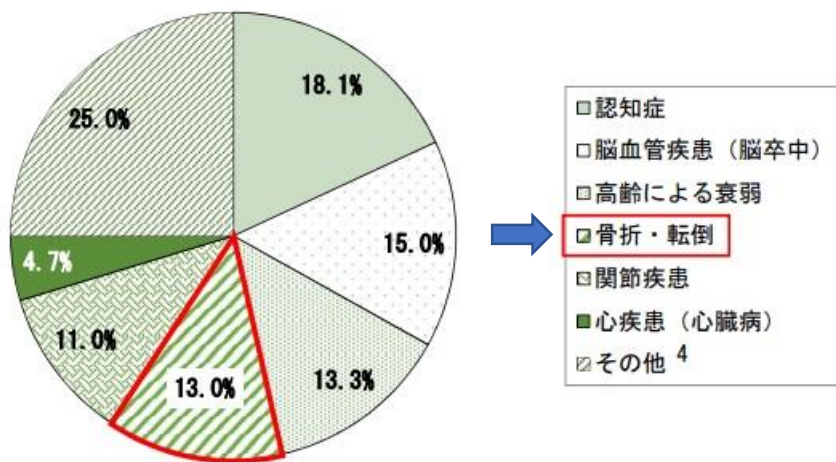
【表1】「65歳以上の不慮の事故による死因のうち、「転倒・転落・墜落」及び「交通事故」による死亡者数の推移」



【表2】「65歳以上の家庭における「転倒・転落・墜落」による死亡者の推移」



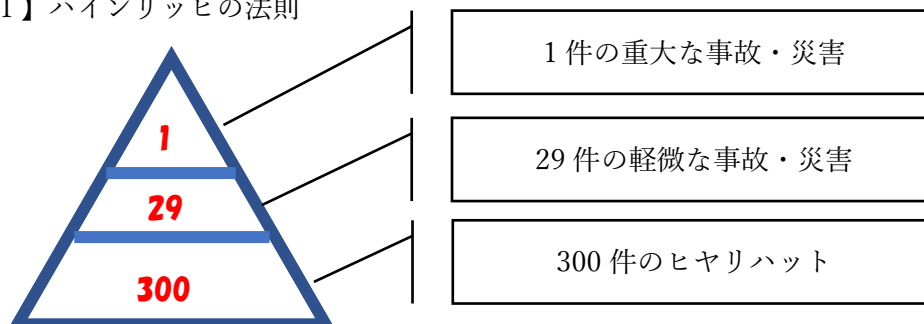
【表3】「高齢者の介護が必要となった主な要因」



### 施設における安全の確保

介護福祉職が、「事故を防ぐために」と学ぶものの一つに、「ハインリッヒの法則」があります。（元々は、労働災害における経験則の1つ）「1件の重大な事故の背景には、29件の軽微な事故があり、さらにその背景には300件の「ヒヤリハット」が隠れているという考え方です。（図1）

【図1】ハインリッヒの法則



ハインリッヒの法則に基づいて、施設・事業所等では、「危険予知訓練」を研修として行ったり、「ヒヤリハット」は報告書があり、その分析・対策を講じ、「介護事故」を未然に防ぐ努力をしています。

### ご家庭において

さて、一般家庭においての「危険」に関しては、表1や表2にある通り「スリップ、つまずき及びよ

ろめきによる同一平面上での転倒」が80歳以上に多いとあります。高齢者自身の事として「運動機能や認知機能の低下」による事故はもちろん考えられますが、表などを加味すると「生活環境」が原因であることも大きく係わってくると思います。「危険予知」として、滑りやすい床材、スリッパ、靴下、段差、少し凹んだレール、逆に少し出っ張ったレール、絨毯、畳の目、畳縁、延長コード…etc 少しの危険が大きな事故につながります。日頃から点検をして、「ここを直しておけば」等と後悔しない様、【表3】にならない様に気を付けて頂きたいと思います。介護保険のサービスの1つである「住宅改修」も大きな対策となりますし、介護福祉士の知識はご家庭でもお役に立てることが出来ます。お気軽にご相談ください。

「介護」状態にならないことが、健康で長生きすることのひとつです。ご自分のご家族がいつまでも元気でいて頂くのが一番と思います。

## 次回は、「私のかいごストーリー」です。



### 一般社団法人北海道介護福祉士会

介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に寄与している団体です。★ 新入会員募集中 ★

TEL&FAX 011-222-5200



北海道介護福祉士会  
HPリンク

## 北海道福祉人材センターからのお知らせ

北海道福祉人材センターでは、6月26日（日）、7月9日（土）、7月10日（日）に

**オンライン福祉職場説明会**を開催します！

詳しくは、ホームページをご覧ください。<https://fukushi-online.jp>

スマホ PCでどこからでも参加OK！

オンライン福祉職場説明会

6/26(日) 7/9(土) 7/10(日)



ご不明な点は、お気軽にお問合せください。

発行：北海道福祉人材センター TEL011-272-6662